

# 高 岐 高 校 だ じ ゃ ん

第153号

令和5年12月15日  
 岐阜県立岐阜高等学校  
 PTA会長 武藤玲央奈  
 印刷/ヨツハシ(株)  
 題字/筑間 敏博

## CONTENTS



▲150周年記念式典



▲文化祭

- 次のステップへ
- 「ジョイントセミナーat東大」を振り返って
- 新年度のコース選択・科目選択に向けて
- 冬季休業の生活について
- 令和5年度 PSセミナー
- 第72回全国高等学校PTA連合会大会宮城大会に参加して
- 1・2年次PTフォーラムを終えて
- カディーム・ベル先生(ALTあいさつ)
- 岐高生の本気
- 帰ってきた？岐高祭
- 感動の体育大会
- 後期生徒会発足
- グローバルリーダー養成事業
- 修学旅行
- 創立150周年記念事業について
- 芸術とエンターテインメントの融合
- 部活動の主な成績・活動状況

- 進路指導部 ..... p1
- 進路指導部 ..... p2
- 教務部 ..... p2
- 生徒指導部 ..... p3
- 渉外部 ..... p3
- PTA会長 ..... p4
- 1・2年次委員長 ..... p4
- 英語科 ..... p4
- 前期生徒会 ..... p5
- 前期文化委員長 ..... p5
- 前期体育委員長 ..... p5
- 後期生徒会長 ..... p5
- 進路指導部 ..... p6
- 2年次 ..... p6
- GK150 ..... p7
- 後期文化委員長 ..... p7
- 特別活動部 ..... p8

### 次のステップへ

進路指導部

令和5年は、社会全体で多くの行事が戻ってきた1年となりました。3年ぶり、4年ぶりに開催となった行事も多くありました。進路指導部としても、ジョイントセミナーat東大を4年ぶりに現地開催することができました。みなさんにとって、充実した1年になったのではないのでしょうか。

3年次生は、いよいよ入試本番を迎えます。共通テストを皮切りに、私立大、国公立大の前・中・後期と矢継ぎ早に行われていきます。私は、大学受験は、各自が学ぶ環境を勝ち取る戦いだと考えています。それぞれの試験に最善の準備をして臨んでほしいと思います。

2年次生は、11月の年次集会以、「修学旅行が終わったら受験生」という言葉があったと思います。今まで、英数国の3科目を中心に学習を行ってきましたが、理科・社会を視野に入れた学習に転換していきましょう。もちろん、必然的に学習時間が増加していくはずですが。

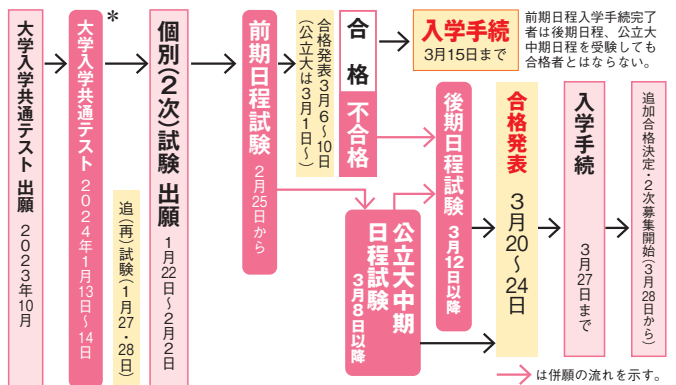
1年次生は、岐阜高校での多くの行事を経験し、先輩たちの偉大さを実感したことでしよう。また、仲間と切磋琢磨する充実した時間を過ごすことができましたと思います。

冬休みは、短期間ですが、新年を迎えるにあたって、次のステップへ進む転換期でもあります。今年の成果と反省を胸に、新たな決意をもって過ごしてほしいと思います。みなさんの健闘を期待しています。

### 2024年 大学入学共通テスト 時間割

期日	教科・出題教科	解答時間・記点・時間割
第1日 2024年 1月13日 (土)	地理 歴史	〔世界史A〕〔世界史B〕〔日本史A〕 〔日本史B〕〔地理A〕〔地理B〕
	公民	〔現代社会〕〔倫理〕 〔政治・経済〕〔倫理・政治・経済〕
	国語	〔国語〕
	外国語	〔英語〕〔ドイツ語〕 〔フランス語〕〔中国語〕 〔韓国語〕
第2日 2024年 1月14日 (日)	理科①	〔物理基礎〕〔化学基礎〕 〔生物基礎〕〔地学基礎〕
	数学①	〔数学Ⅰ〕〔数学Ⅰ・数学A〕
	数学②	〔数学Ⅱ〕〔数学Ⅱ・数学B〕 〔簿記・会計〕〔情報関係基礎〕
	理科②	〔物理〕〔化学〕〔生物〕〔地学〕

### 2024年 国公立大入試日程



※前期日程と後期日程は、それぞれ別に募集人員が設定され、試験から入学手続きまで別々に実施される。これを「分離方式」という。両日程の合格発表を見届けてから入学先を選ぶことはできない。

※追(再)試は1/27・1/28となる。詳細は大学入試センターのホームページ(www.dnc.ac.jp)をご覧ください。また個別試験の追試については各大学のホームページでご確認ください。

令和5年度

## 「ジョイントセミナーat東大」を振り返って

今年で16回目を迎えることとなった「ジョイントセミナーat東大」。今年度は4年振りに東京大学や東京霞が関の官公庁へ訪問して対面で実施することができ、1年次生86名の生徒が参加しました。

1日目は、東京大学の本郷と駒場の2つの各キャンパスに分かれ、講義やキャンパスツアー、研究室訪問を行いました。

本郷コースでは、法学ご専門の神山先生から租税法の考え方をご紹介いただき、駒場キャンパスでは、進化生物学ご専門の市橋先生・渡辺先生から東京大学の歴史や最新のご自身の研究を紹介していただき、大学の学問・研究の一端に触れることができました。

2日目の午前は、「先輩と語る会」では、現役東大生から勉強の仕方や実際の大学生活についてのお話を伺い、東大生を身近に感じることができました。

2日目の午後は、経済産業省に訪問し、木村氏、松野氏、田尻氏の皆様から国家公務員になろうと思ったきっかけや、グローバルな視点から日本国民の生活が豊かになるためのルールや政策を作っていることを中心にお話しいただき、生徒は強く刺激を受けていました。

### 生徒の感想

●ジョイントセミナーat東大を申し込んで良かったと心から思えた。これを通じて、東大に行きたいという気持ちが増えた。収穫は、自分の選択肢が広がったこと。今まで考えもしないようなことを考えることができたからだ。この2日間で見えたもの、感じたこと、いつまでも忘れないよう、大切に留めていたい。

### 「東大生」と聞くと、頭がとて良く、何もしなくても勉強できる人だと思っていたけれど、話を聞くと効率よく自分に合った勉強方法をしたり、好きなものを追究したりと自分にとっていい勉強法をみつけ、実践してきた人たちであったことが印象的でした。

●「先輩と語る会」では、先輩が高校生のうちしか部活はできないんだからそれは楽しんで、今できることをやったほうが良いよとおっしゃっていて、すこすこためになった。

●先輩と語る会では、どの東大生の先輩方からも「自分がやりたいことをやる」ことが最も大切ということがよく分かった。経済産業省での木村さんのお話は、「先輩と語る会」とも通じる部分があって、余計「自分がやりたいことをやる」ことがいかに大切か、身を持って感じられた。以前、先生が岐阜高校を誇りに思うのではなく、自分自身が岐阜高校の誇りになろうとおっしゃっていましたが、今回経済産業省を実際に訪れて、より一層その考えが強まった。

●経済産業省が一番有意義でした。収穫は自分の夢へと突き進む決心と日本人として、国民として「国に何をしてもらうかではなく、何ができるか」という僕にとつて新しい考え方を手に入れたことが特に大きな収穫でした。



## 新年度のコース選択・科目選択に向けて

教務部

本校では将来の進路、適性、希望により、二年次から文系、理系いずれかのコースを選び、学習するように教育課程が編成されています。

新年度のコース選択・科目選択に向けて、年次集会での説明や総合的な探究の時間における進路学習を行ってきました。十一月には仮登録を行い、保護者懇談会を経て、十二月二十二日(金)に本登録を行います。

特に新二年次生は、今後の進路を考えるうえで大きな選択になりますので、しっかりと考えて選択してください。

### 新二年次生

#### コース選択

文系コースでは、文学部や法学部、経済学部などの文系学部への進学を目指して学習します。国語や社会の授業時間が多いコースです。

理系コースでは、理学部や工学部、医学部などの理系学部への進学を目指して学習します。数学や理科の授業時間が多いコースです。

#### 地理・歴史の選択

文系コースでは、世界史探究を必修科目とし、地理探究と日本史探究から一科目を選択して履修します。

理系コースでは、地理探究、日本史探究、世界史探究から一科目を選択して履修します。また、文学概論、地理総合、歴史総合から一科目を選択して履修します。ただし、地理探究を選択した場合は、地理総合は選択できません。同様に、世界史探究または日本史探究を選択した場合は、歴史総合は選択できません。

#### 理科の選択

文系コースでは、化学基礎を必修科目として履修します。また、文学概論、物理基礎、生物基礎から一科目を選択して履修します。

理系コースでは、化学基礎・化学を必修科目とし、物理と生物から一科目を選択して履修します。

### 履修します。

#### コース・科目選択の注意点

コースや科目は、三年次への進級時に変更できません。進路希望を踏まえて慎重に選ぶようにしてください。

#### その他の選択

放課後等には、個別のより高度な学習ニーズに対応した自由選択科目を設置し、開講します。詳細については、後日学校より説明します。

### 新三年次生

#### 地理・歴史の選択

文系コースでは、二年次で履修している二科目を継続して履修します。

理系コースでは、二年次で履修している科目を継続して履修します。

#### 理科の選択

文系コースでは、物理基礎、化学基礎、生物基礎から二科目を選択して履修します。

理系コースでは、化学と二年次で選択している科目を継続して履修します。

#### その他の選択

個別のより高度な学習ニーズに対応した学校設定科目「特論」を開講し、幅広い教科の中から二科目選択して学習します。





## 冬季休業の生活について

生徒指導部より

保護者の皆様へ

### 1 交通事故防止・交通規則の遵守

今年度10月31日現在、15件(昨年17件)の交通事故が発生しています。学校では交通安全意識を向上させるべく努力しておりますが、ご家庭でも命を守るために、時間的なゆとりある登下校と、交通安全・交通規則の遵守と、ヘルメットの着用について日常的にご指導ください。

### 2 心の健康を保つ

お子様の様子がいいつもと違い悩みを抱えているようであれば、話をよく聞いていただき、必要であれば学校に相談してください。冬季休業中や休日、下に掲載した電話相談窓口を利用してください。

#### 事故や困った時の連絡先

★事故・事件等  
最寄りの警察署生活安全課へ  
(緊急時には110番)  
★いじめ・悩み・困りごと  
(学習・進路)などについての相談  
子供SOS24 TEL 0120-0-78310  
(夜間・休日・祝日全24時間体制)

### 3 保護者による車の送迎について

今年度になり朝夕の保護者または祖父母による車の送迎マナーに対する近隣住民からの苦情電話が多くなっております。寒い時期には車での送迎が増加するため、苦情が増加する懸念があります。急いでいてもお子様の前で保護者が「自分さえ良ければ」という態度と判断を見せることのないよう今一度、保護者による送迎マナーの遵守をお願いします。

### 4 情報端末の使用・情報モラルについて

LINE・インスタグラムの書き込みがもとでトラブルが起きています。自他の個人情報や写真、他人の誹謗中傷など

をネット上に載せないよう、繰り返しご指導ください。またスマホの長時間利用とネット上での悪口・いじりがスマホの二大トラブルといわれています。「リスク対応力」を育てる情報モラル教育を学校でも徹底していきますが、スマホの利用について、どの程度のリスクがあるかをご家庭内で再度話し合いをしていただきますようお願いいたします。

### 5 撮影罪と送信罪

令和5年7月に施行された性的姿態撮影等処罰法の施行により、他人の性的姿態や禁止された方法での撮影行為、及び正当な理由なしの撮影、そして撮影したものを不特定多数者に送信した場合に対し、これまでの条例による処罰から法律による処罰となりました。保護者の方々にも周知をお願いします。

### 生徒の皆さんへ

### 家族・社会の一員、岐高生としての自覚

年末年始には家族・親族と過ごす時間も、また地域での行事もあると思われ、年末の大掃除や家庭での手伝いを積極的に、普段できない感謝の意を行動で示し、言葉で家族に伝えよう。

また、創立150周年記念式典も盛大に行われ、生徒の皆さんは岐阜高校の次の150年に向けてのスタートを切る岐高生でもあります。岐阜高校の歴史と伝統を守りつつ、フラッグシップ校として県内のみならず全国のモデル校となるべく「岐高生としての誇り」と「岐高生であることの自覚」を持って「百折不撓」の精神でより一層精進していきましょう。

## 令和5年度 PSセミナー 渉外部

PSセミナーも今年で28回目を迎えましたが、今回は4年前まで行われた形式に戻しました。9名の講師の方々には一つの教室に留まり対面講義をしていただきながら、ステージ毎に「生徒が教室移動」をしていくという形です。この講義は、生徒の人生観・職業観の育成を図ることを趣旨とし、PTA行事の一環として開催しています。今年は大勢の保護者の方々にも、教室で参加していただくことができました。

今年度は、「医師にできること」「学力ある岐高生がつくべき仕事とは」「特別支援教育について」「画像診断だけが放射線科医の仕事だろうか」「大学時代の海外経験について」「食で繋がる健全社会の未来」「獣医師の多彩な仕事内容と学生生活」「私の大学受験、就職活動、社会人生活」「現在の職業を選択した動機」のタイトルで講義が行われ、どれも生徒の興味を引くものばかりでした。キャリア教育の一環として、本校生徒の人生観・職業観育成や進路選択の一助になったことと思います。以下に生徒の感想を掲載します。

- お話の中で、特に「傾聴と共感」「患者を診ること」に感銘を受けました。医療従事者を志す人間として、心に刻んでおくべき言葉だと感じました。まず聴いて共感すること、身を案じすぎると相手にとって不愉快であることは新しい発見でした。
- 「岐阜高校生だから」という枠にとらわれずに進路選択をしていきたいなと思いました。今回の話を聞いて、自分のやりたいことに挑戦してもいいのではないかと思いました。



● 私は、選択についての話が印象的でした。「自分で決める自分ひとり決める」というのは納得でき、頼り頼られての関係を築けると良いと感じました。また、選択を正解にするための努力というのを普段意識することがなかったので、選択後の道を整える努力をしようと思いました。

● 私は、最近「はやく進路を決めないと」とあせっていたけど、先生の「今思っていることをやればいい」という言葉で心が軽くなりました。だから、今できる努力をして自分の可能性を広げつつ、高校生活を楽しみたいです。

● 行動してみないと分からないとおっしゃっていたのが最も印象に残っています。良くも悪くも、新しいことを学べるんだということを知れて良かったです。

● 自分の人生の経験を通して、人生について大切な、果敢に挑戦することについて話してくださり、とても勉強になりました。

● セミナー実施後の生徒のアンケートでは、どの生徒も「自身にとって有益な講義であった」との肯定的な評価をしており、セミナーの成功を確信しています。

● 最後にになりましたが、講師の方々には講義依頼を快諾していただき、後輩のために貴重な時間を割いていただき感謝しております。また、お骨折りをいただいたPTA本部役員の皆様方、本当にありがとうございました。

「第72回全国高等学校PTA連合会大会 宮城大会」に参加して

PTA会長 武藤 玲央奈

8月24・25の両日、「豊かな杜につむぐ虹の光りやかな強さで生き抜く力」をテーマに右記大会が宮城県仙台市で開催されました。4年ぶりに現地に赴いての参加となり、3年次生の本部役員において出掛けました。

初日は、「コミュニケーションスキルとグローバルの光り地域教育魅力化の取り組み」の分科会に参加しました。地元宮城県各地で行われている地域と学校が連携した取り組みが紹介されていました。

2日目は全体会が行われました。各種表彰においては、本校の関係では、國井重宏、今井田直のお2人の元PTA会長が表彰を受けられました。

記念講演では、今年の甲子園での全国高校野球で準優勝した仙台育英高校の須江航監督が、「伝わる言葉は失敗から学ぶ」との演題で講演されました。前々日に甲子園で決勝戦を戦ったばかりの須江監督でしたが、大変エネルギーに語りかけ、一同引き込まれていました。人は成功体験よりも、自らの失敗体験からでないかと学べないとの言葉が印象に残りました。我々も、ついでに子供の失敗を咎めてしまいがちですが、失敗を次の成功のための糧と捉えて、前向きな言葉がけをすることが子供の成長につながるのだと考えさせられました。

今回、大変貴重な学びの機会を頂き、感謝申し上げます。残りのPTA活動にも活かしていきたいと考えております。

1年次 PTFフォーラムを終えて

1年次委員長 服部 直樹

去る9月25日、「親子で考える進路選択」をテーマに1年次PTFフォーラムが開催されました。多くの保護者の皆様にご参加頂き、心より感謝申し上げます。

全体会では、2025年度からの新課程入試とそれに対応したカリキュラム・岐阜高校での学習の流れ・探究活動について、学校から丁寧な説明をして頂きました。保護者の皆様にとって関心のある情報を共有することができたと思います。

その後、大橋先生から「岐阜高校職員による親としての体験談」と題してご講演を頂きました。自分の子どもとどう向き合い、進むべき進路をどう決めるのか、改めて考える機会となった方も多いのではないのでしょうか。大学入試はあくまで通過点、親子で一緒に考える大切さを教えて頂きました。

学級懇談会では、担任の先生から子どもたちの日常風景を紹介して頂き、保護者の皆様と楽しく意見交換をすることができました。

岐阜高校では「グローバルリーダー」の育成に力を注いでいます。いつの時代も、世界を変えるイノベーションは「新しい組み合わせ」から生まれます。「新結合」を生み出す柔軟な発想は、勉強だけでなく、部活動や探究活動、遊びを通じて経験した雑多な情報がベースとなります。1年次生の皆様の人生を彩る多様な経験を、この岐阜高校で、この仲間と一緒に、得て欲しいと願っています。

2年次 PTFフォーラムについて

2年次委員長 神田 政彦

去る9月22日、「進路目標達成のために」をテーマに、多数の保護者の皆様のご参加を得て、2年次PTFフォーラムが開催されました。

全体会では、駿台予備学校の磯川勝氏を講師としてお迎えし、「第一志望合格に向けて」と題してご講演をいただきました。ピーク時と比べ現在の受験人口は半分近くとなっていることから易化しているように見えるものの、難関大学の志望者数は20年以上大きく変わっていないとの受験動向のほか、第一志望を決めたら、途中で思うような成果が出なくても最後まで貫くことの重要性を具体的な事例をもとにお話いただくなど、幅広い内容であったという間の1時間でした。「出願なければ受験なし。受験なければ合格なし」との力強いメッセージは、2年次生といっても受験は遠い未来のことではなく確実に近づいているとの思いを新たにさせられるものでした。

その後の学級懇談会では、担任の先生からクラスの様子などを伺ういっぽう、保護者の皆様からは各家庭での様子をお話いただくなど、子どもたちの「今」を知る良い機会になったのではないかと思います。

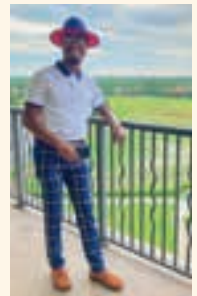
私たち親世代が高校生だった頃とは社会は大きく変化しています。以前は正しいと思われていたことが今の高校生にとって正しいとは限りませんし、親世代とは進路に対する考えも異なっており、当然だと思えます。今回のPTFフォーラムが保護者の皆様と子どもたちの目標設定、目標達成の一助になれば幸いです。

Hello, Gifu Senior High School,

カディーム・ベル先生

My name is Kadeem S. Bell. I have recently started teaching at Gifu Senior High School as an ALT. I have been enjoying and embracing every single moment of it! I was born in Florida, USA, but I was raised in Jamaica. My educational and professional background started off in Criminal Justice. This is where I earned my Bachelor of Arts degree in Criminal Justice from Edward Waters College. I continued and earned my Master of Science degree in Criminal Justice from the University of Central Florida. Now, I am finishing my PhD degree in Criminal Justice from Nova Southeastern University. I entered the field of Education directly after leaving the Criminal Justice sector and it has been a wonderful decision. I have over eight years of teaching experience, starting at the University level, teaching Criminal Justice at multiple universities along with teaching public school. In those years I focused on American and World History and college/university preparation courses.

The students and staff at Gifu Senior High School have been amazing and great to work with and I'm grateful to join this great team. I have always believed that it is not what others can do for me, it is what I can do for others. One thing that I believe is that education is key. With education comes opportunities. I believe that all students deserve the opportunity to become what their hearts desire, and a barrier such as language should not be the factor that closes the door on life for anyone. I can ensure that the students that I get the honor of teaching would be able to flourish in any environment that they will experience in the future.





## 岐高生の本気

前期生徒会代表 田中 怜

皆さん、今年の岐高祭はいかがでしたか。今年は4年ぶりに制限なく開催された岐高祭となりました。様々な出し物を見ることで、非常に楽しめたと思います。岐高生のフルパフォーマンスはプロさながらの出来栄でした。しかし、その裏には皆さんの血と汗と涙がにじむ努力があったのは言うまでもないでしょう。短い準備期間で仲間と協力し合いながら、時には様々な紆余曲折を経て、素晴らしい結晶を作り上げてきましたね。数々の素晴らしいアイデアや準備の様子を見て、さすが岐高生だなと改めて感嘆しました。皆さんののおかげで創立150周年にふさわしい素晴らしい素晴らしい岐高祭になったと思います。運営に尽力して下さった先生方、応援して下さっている保護者の皆様、そして岐高生の皆さん、さあ150！（最高）の岐高祭をありがとうございます。



## 帰ってきた？岐高祭

前期文化委員長 家守 格汰朗

今年の岐高祭はいかがだったでしょうか。一年次は初めての岐高祭でしたが、展示、体験ブースなど、クラスの色がでていました。二年次は、動画制作でしたが、どれも面白いものばかりでした。三年次は体育館での劇をクラス一丸となって見事に創り上げていました。

ところで今年は、新型コロナウイルス感染症による制限が著しく緩和された年でありました。コロナ禍以前に戻るにあたって、今年からは学年ごとで順位がつけられました。順位はあれど、どのクラスも当日に向けての準備など、かねての苦勞には頭が上がりません。この岐高祭を通してクラス単位での結束力が強まったのであれば幸いです。最高の岐高祭をどうもありがとうございます。



## 後期生徒会発足

後期生徒会長 福田 悠希



こんにちは。後期生徒会執行部が発足して約1か月が経ちました。後期は、2年生4人、1年生2人の6人で心機一転活動していきます。

僕たちは、「すべての生徒が自分らしく楽しく快適に生活できる岐阜高校」を目指していきます。それぞれの生徒や先生の個性を最大限に尊重しあえるような学校になるといいなと考えています。

後期生徒会執行部は、6人がお互いに助け合い、本音をぶつけ合うことができるメンバーだと感じています。たくさん議論してより良い学校を作っていきますので、よろしくをお願いします。

## 感動の体育大会

前期体育委員長 出村 珠生

今年の体育大会は、コロナによる制限が撤廃され、競技や応援に全力を注ぐことができました。競技はもちろん、二階のスタンド席から響く野球応援を思わせるような声援はきいていて楽しかったです。

応援団の演舞は、体育大会の目玉です。団員の熱い思いが具現化した演舞は、輝かしいもので、団員全員の全力でパフォーマンスする姿と真剣な表情に、感動しました。また、演舞中の真剣な表情とは対照的に、演舞後の笑顔で互いに声を掛け合っている団員の姿は印象的でした。演舞をする応援団員とそれを見守る観客が一体となった印象の強い15分でした。

今年は競技数も増えましたが、予定通り滞ることなく、競技が進められたのは、生徒全員が主体的に参加してくれたことと、準備を担当して下さった部活の方と先生方のおかげです。かかわってくださった方々に感謝します。



# グローバルリーダー

## 養成事業

### 職業・学問体験プログラム

#### 社会情報系 4月19日(水)

「大丈夫あなた?そんなつもりじゃ...  
と思う日がこないように!」

●講師: 上水流信秀氏

(情報モラル教育研究所代表)

SNSをめぐるトラブルに巻き込まれないためにどうすればよいか、具体的に  
お話しいただいた。その後、アンケート  
のAI分析結果を示していただいた。

#### 心理社会系 6月9日(金)

「コロナ禍を通して考える命の尊さ」

●講師: 杉山温人氏(国立国際医療研究  
センター病院病院長)

岐阜高校創立一五〇周年記念講演とし  
て、「命の尊さ講話」を実施した。自らの  
キャリア形成に関わるお話とともに、新  
型コロナウイルス感染防止に尽力なさつ  
たご経験についてお話しいただいた。

#### 生活健康系 6月21日(水)

「まだまだ知らないウールの世界」

●講師: 今井康隆氏(泉州羊毛工業株式  
会社代表取締役社長)

サステイナブルな天然繊維ウールの特  
異性と魅力、実験なども交えてご紹介  
いただいた。

#### 地域医療系 6月30日(金)

「地域医療の現状を知ろう」

●講師: 山田誠氏(岐阜市民病院副院長)  
地域医療の現状についてお話しした  
いた後に、医師と薬剤師の職種に分か  
れて座談会を行った。

#### 土木工学系 7月12日(水)

「高速道路建設現場を見に行こう」

●講師: 永田和寿氏(名古屋工業大学都  
市社会工学科准教授)

藤原由康氏(中日本高速道路株  
式会社岐阜工事事務所所長)  
講義の後に、東海環状自動車道の岐阜  
IC(仮称)へ行き、建設現場を見学した。

#### 数学科学系 7月14日(金)

「大学数学の世界を体験してみよう」

●講師: 星野壮登氏(大阪大学大学院基  
礎工学研究科准教授)

ミクロの数学「確率論」とマクロの数学  
「偏微分方程式」を合わせた「確率偏微分  
方程式」についてお話しいただいた。

#### 環境科学系 9月29日(金)

「ウサギの生態から  
野生生物の保護を考える」

●講師: 山田文雄氏  
(沖縄大学地域研究所客員教授)

海外研修の事前研修を兼ねて実施し  
た。「ウサギ博士」の山田氏より、ジャワ  
島やインドシナ半島固有のウサギや  
森林生態系の保全についてお話しした  
いた。

#### 環境科学系 10月31日(火)

「ポルネオの環境問題と  
私たちの生活について」

●講師: 青木崇史氏(ポルネオ保全トラ  
スト・ジャパン事務局長)

海外研修の事前研修を兼ねて実施した。  
長年、環境保全活動に携わってこられ  
た経験を基に、開発と自然保護の両面か  
らお話しいただいた。

#### 最先端科学体験プログラム

#### 環境科学系 4月24日(月)

「南極の水がなくなると、  
ペンギンはどうなるの?」

●講師: 渡辺佑基氏(総合研究大学院大学教授)  
バイオロギングという手法を駆使して  
調査された南極のペンギンの生態につ  
いてお話しいただいた。

#### 国際交流体験プログラム

7月19日(水)

「平和はつくれるか?」

●講師: 伊勢崎賢治氏(東京外国語大学名誉教授)  
国際NGOや国連職員として、世界各  
地の平和維持や紛争解決に尽力された経  
験についてお話しいただいた。

9月28日(木)

「日本を考えるー海外で見てきた  
各国の政治を踏まえてー」

●講師: 石井久哉氏  
(元国際連合国監査部監査役)

岐阜高校創立一五〇周年記念講演とし  
て実施した。避難民支援活動の現場を目  
撃し、政治の重要性を再認識されたご自  
身の経験をお話しいただいた。

11月2日(木)

「SDGsの達成に向けて、  
国際協力に求められるジェンダーの視点」

●講師: 新見陽子氏  
(同志社大学政策学部教授)

海外研修の事前研修を兼ねて実施した。  
SDGsの第一の目標である「貧困撲滅」  
に向けた国際協力において、ジェンダー  
の視点を取り入れることの大切さにつ  
いてお話しいただいた。

# 修学旅行

澤田 咲子・澤田 陽菜子



去年に引き続き、今年も新型コロナウイルス感染症の対策のため関西方面への修学旅行に行ってききました。

姫路城では、真っ白で美しい外観とともに日本の自然や文化を学びました。また、淡路島にある北淡震災記念公園では、阪神・淡路大震災で被災した方のお話を聞き、震災の恐ろしさや日常から備えておくことの大切さを改めて感じました。ディナークルーズ、大塚国際美術館、ユニバーサルスタジオジャパン、クラス別研修での京菓子づくりや嵐山散策では、仲間と最高に楽しむことができました。

修学旅行を通して、クラス、年次の仲間、先生方とのつながりが強くなったと感じます。仲間と過ごしたこの4日間は、かけがえのない宝物になりました。

とても思い出に残る修学旅行を計画してくださった先生方、保護者の方々、本当にありがとうございました。







# 創立150周年 記念事業について

GK150 Unleash Your Possibilities  
～岐高魂を世界へ解き放て～

岐阜県立岐阜高等学校は、1873（明治6）年に仮中学として開校され、2023（令和5）年には創立150周年を迎えました。これを記念して以下のとおり記念事業を実施しました。

## グローバルリーダー 養成事業の支援

岐阜高校の「グローバルリーダー養成事業」を長期にわたって資金面で支援することになりました。今年度は、グローバル・スタディーズ・プログラム研修費助成制度に基づき、研修生一人当たり2万円、延べ38名の助成を実施しました。

## 林間学舎リニューアル事業

岐高魂の象徴とも言える林間学舎（遊学館）は、1968（昭和43）年に竣工して50年余が経過しました。今回の事業で、食堂棟のサッシの一新に加え、ブ

ロジエクターや大型スクリーンを設置し、体験活動や生徒間の交流の充実を目指したり、リニューアル工事を実施しました。

## 親善野球大会

岐阜高校と並んで最古の高校野球部である青山学院高等部と、2023（令和5）年5月21日に岐阜メモリアルセンター長良川球場にて親善野球大会を実施しました。

## 特別展 「歴史を振り返りつつ」開催

（岐阜高校主催・同窓会との共催）



在校生徒の作品（絵画・彫刻・書・写真等）を中心として140点ほどを展示し、合わせて創立150周年を記念した歴史を振り返る展示を、岐阜県美術館において、2023（令和5）年7月14日～23日の10日間に行う予定です。

## 岐阜高校向け記念品の寄贈

創立150周年を記念するモニュメントを寄贈しました。これまでの150年、これからの150年をコンセプトに、創立から10年刻みの年号を示す



ステンレス製の柱、合わせて16本と説明板をプロムナード沿いに足下の灯火と共に設置しました。

## 記念式典・記念講演会

2023（令和5）年10月29日  
9時30分～12時30分

記念講演会講師：大栗博司氏  
演題：人生で大切なことは

岐阜高校で学んだ

在校生に対してグローバルリーダーとしての意識醸成につながる記念式典ならびに記念講演会を長良川国際会議場にて実施しました。



1700名を超える同窓生・在校生の皆さまからは、「素晴らしい記念式典・講演会に参加できて満足している」などのお声を頂戴しております。これも保護者の皆さまにご支援いただいた賜物と、岐阜高校ならびに同窓会一同深く感謝しております。

この先も岐阜高校にとりまして、その歴史にふさわしく、また現役の高校生の未来に資する行事を展開していきたいと考えております。今後とも引き続き岐阜高校ならびに、岐阜高校同窓会にご支援賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

## 芸術とエンター

## テイメントの融合

後期文化委員長 大杉 葵

音楽劇を含んだ音楽鑑賞会は皆の笑顔で満ちていました。

身の周りの音を表現した楽器紹介や、観客席まで間近に近づき、一体となつて楽しむ演奏に心惹かれる人も多かつたはず。全体を通して音楽に親しみのない人でも楽しめる工夫が詰まっております、充実した時間を過ごすことができました。

音楽劇では、演奏者と俳優の情熱が組み合わさり、心に残るエンターテイメントを提供してくれました。劇の音響、演出は大変見事で、視覚、聴覚ともに引き込まれました。

会場の雰囲気は魔法のようで、観客は熱心に演技と音楽に没頭しました。音楽鑑賞会は芸術とエンターテイメントの融合であり、感動的な体験でした。この体験をきっかけとして音楽に親しみをもち、心豊かな生活を送っていきましょう。



体育系

Table with columns: 部名, 活動・試合結果など. Rows include: 硬式野球, 陸上競技, サッカー, バレーボール, バスケットボール, ソフトテニス, 水泳, 卓球, バドミントン, 柔道, 剣道.

Table with columns: 部名, 活動・試合結果など. Rows include: 軟式野球, テニス, ハンドボール.

文化系

Table with columns: 部名, 活動・試合結果など. Rows include: 美術, 書道, 演劇, 音楽, 文芸, 茶華道, 自然科学班, 自然物理解班, 自然科学班, E S S, 写真, 囲碁・将棋, 吹奏楽, クイズ研究, チアリーダー.

局

Table with columns: 部名, 活動・試合結果など. Rows include: 図書, 放送.